

教材教具名 お茶くみセット	教科 (自立)	情報提供者 ( )
---------------	---------	-----------

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

丁寧さを求められる生活スキルの向上。成功体験を積み、自己肯定感を持たせる。

2 発達段階など

精神面では、その日の体調や天候に敏感で不安定になることがある。また、自己肯定感が低く、思うようにできないときや、自信が持てないことに挑戦するときも同様に不安定になりがちである。生活スキル面では、手先の感覚過敏があることから、手先に力を入れなければならない作業や丁寧さを求められる作業は苦手である。しかし、興味がわく作業や見通しが持ちやすい作業においては、モチベーションが上がり、楽しみながら行うことができる。人との会話も楽しむことができるため、今後人間関係をきづくためのコミュニケーション能力も高めていきたい。

3 使い方

※火曜日の朝学習(週1回)で取り組んだ。

- ① お盆の上にセットされた湯呑みときゅうす、手順書を自分の机の上に持ってくる。
- ② 手順書を見ながらお茶を入れる。
- ③ お盆に湯呑みをのせて運び、教員に配る。
- ④ 配る際には、「お茶をどうぞ」と適切な言葉遣いを意識する。
- ⑤ 湯のみの回収、きゅうす等の片付けを行う。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 手順書内の手順をできるだけ少なくし、視覚化かつ簡略化したため、生徒に見通しを持たせやすかった。
- 生徒は、お茶くみを毎週楽しみにしており、教師に喜んでもらえることを励みとしていた。
- 最初は勢いよくコップについでいたため、お茶をこぼしていたが、繰り返し練習することで、生徒自信が意識するようになってきた。
- お茶をつぐという作業に配るという作業を追加することで、自立の項目である身体の動きにコミュニケーションを合わせて指導することができた。
- 今は出来上がったお茶をつぐという作業だけであるが、今後はお茶っ葉から入れるなどスキルのレベルアップを図りたい。